

オイルの健康パワー!

オリーブだより えたじま

オリーブの「今」を伝える情報紙

VOL.5 2017 夏 | 広がり続ける「オリーブの輪」



「最も重要なのは土づくり」ともおっしゃっていました。市民、企業、行政が力を合わせた“オール江田島”で、特産品としてのオリーブに磨きをかけていきたいですね。(西村)



生産者さんに聞きました

松尾 諭さん

(江田島オリーブ(株) 生産グループリーダー)



栽培のたのしみ

今は、約10人の生産チームのグループリーダーとして、畑に出たり、事務仕事をする毎日です。チームでの作業は、喜びや辛さを分かち合えるのがいいですね。加工チームのリーダーも兼務していますので、栽培から搾油まで一貫して手掛けています。目標は江田島ならではのオリーブ・オリーブオイルを作ること、生産量を上げること。江田島の気候や自分たちのやり方に合った「栽培の型」を作り



いつから?

平成27年3月、グループ会社からの異動によりオリーブ栽培のメンバーに加わりました。私にとって初めての農業、オリーブファクトリーもオープン前の構想段階、と不安ばかりでした。オリーブオイルのテイस्टリングについて学んだり、オリーブオイルを商品化する際、「安芸の島の実」というネーミングを社内で会議を重ねて決めたのも懐かしい思い出です。



そだてよう、オリーブ



暑い夏には水をあげましょう

オリーブは水はけの良い場所を好み、過湿を嫌います。普段はそれほど水やりが必要ありませんが、夏の盛りには水不足に注意です。葉が乾いて裏側に巻き始めたら、水不足の可能性が高いです。実がついている樹は、実がしわしわにしぼむ前に水やりを心がけましょう。夏は果実が大きくなる時期です。丁寧に実を見守り、収穫の秋に備えましょう。

編集後記

次号は10月1日発行になります。オリーブ果実の収穫や出荷についても、次号でお知らせする予定です。皆さんとオリーブにとって良い夏になりますように。<地域おこし協力隊：峰尾>



フィギュアの国際大会に使ってもらったオリーブ冠。地域にも広がっていくのがうれしいです♪今年は去年よりもたくさん花が咲きました!膨らみつつある実の赤ちゃんも♪大きくなれよ〜!収穫が楽しみ!! <地域おこし協力隊：西村>

オリーブだより VOL.5 2017年7月1日発行
発行：江田島市オリーブ振興協議会

たいですね。イタリアの専門家に学び、良いところを吸収しつつ、江田島の独自性も出せるよう試行錯誤を繰り返しています。

これから

栽培面積は、呉市も含め12.2ha、栽培本数は約4,000本です。1本1本個体識別し、作業記録や収穫量などのデータを集めています。今後活用して、生産量や品質を上げることにつなげていきたいです。安全安心なものを届けようと、農業や化学肥料を使わずに育てるので、草取りや害虫対策など手間暇はかかります。特に害虫対策が一番の課題で、畑をよく見まわることが心掛けています。オリーブアナアキゾウムシのトラップなども考えています。

オリーブファクトリーでお客さんとオリーブを通したコミュニケーションが図れるのも楽しいです。これからはもっと市民栽培者の皆さんと一緒に、一体感や総合力を出して、江田島市の特産品に育てていけると良いと思っています。オリーブの生産、加工、販売を通して地域が元気になっていけばうれしいですね

つかってみんさい、オリーブオイル



きょうこのきょうの食卓 オリーブオイルでおいしく健康!

夏の定番! そうめんのアレンジ たっぷりナスの揚げ浸しそうめん

夏の定番、おそうめん。普通にめんつゆでいただく時にもオイルをかけると旨味アップ♪ピリツとしたオイルを使えば、薬味の役割も果たしてくれます。今回はナスを使いますが、ズッキーニやオクラなどさまざまな夏野菜を使ってみてください♪



つくりかた

カットしたニンニクをオリーブオイルで炒め、香りをつけます。一旦、ニンニクを取出し(焦げないように)、乱切りしたナスを揚げ焼きします。仕上がったらフライパンから直接めんつゆにドボン。ニンニクも一緒に入れましょう。しばらく浸して冷やしたら、ゆでたそうめんにつぶかけ、お好みの薬味をかけていただきます。

- (2人分)
 - オリーブオイル 適量
 - そうめん 2束
 - ナス 1本
 - ニンニク(お好みで) 1かけ
 - めんつゆ 500ml
 - (だし汁、しょうゆ、みりん、酒)
 - 薬味(しょうが、みょうが、ねぎ、ごま、かつお節など)
- ※オイルはエキストラバージンがオススメ!

オリーブ冠が運動会に登場

5月、中町小学校と柿浦小学校で行われた運動会にオリーブ冠が登場しました。オリーブ冠は表彰式にて児童に贈られ、運動会に彩りを添えました。

中町小学校では親子6組と地域おこし協力隊が、柿浦小学校では校長先生と協力隊がともに作業し、運動会前にオリーブ冠を作成しました。

市内で育ったオリーブの枝葉で作られたオリーブ冠は、4月に行われた「世界フィギュアスケート国別対抗戦」の表彰式でも使われました。

「オリーブオイル」や「食べる」という観点以外からも、「江田島市のオリーブ」が広がりを見せ続けています。

『SEA TO SUMMIT』にも登場

6月18日、スポーツイベント『SEA TO SUMMIT』の表彰式にもオリーブ冠が登場しました。江田島市では今年で4回目となる同大会。今回初めてオリーブを採用いただきました。

大会には17都道府県から133名が参加。シーカヤック、自転車、ハイキングを楽しんだ参加者に、「江田島市のオリーブ振興」をPRする機会となりました。

表彰式では、女子シングル部門の上位3名に、明岳市長からオリーブ冠が贈られました。

